

## 第9回分会大会成功裡に終了!!

《 スローガン 》

「闘い続けた25年! その軌跡を確認し

JR東海労働運動のさらなる強化・拡大に向け

組織内外に労働者的な共感を創りだそう!

7月16日、中小企業センターに於いて分会第9回定期大会を開催しました。

### 《松井分会長挨拶》

はじめに、松井分会長より「この一年間の闘いを担った組合員の皆さん大変ご苦労様でした。特に参院選では残念ながら『たしろかおる』議員は惜敗する結果となりましたが、今後も平和・人権・民主主義を守るために奮闘していきましょう。」「この2年間『たしろかおる応援プロジェクト』に尽力された組合員、OB、ご家族のみなさんに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。」

「車両所の各職場では様々な問題が山積されています。交検車両所では周期延伸に伴う新体制の実施で作業時分が大幅に短縮され、時間内に終わらせるのがやっとの検査では、車両品質の確保や安全面に多くの問題があります。」



「修繕車両所では構内操縦従事者のヘルメットに小型カメラを取り付けて入換作業を録画し、社員管理や監視労働に使おうとしています。」

「仕業車両所では偽装請負による作業の見直しがされたものの、まだ多くの問題が残っています。」

「ボーナスカット裁判に対する妨害行為としか思えないような組合

員に対する異常な張り付きも行なわれています。その異常な管理体制を裁判の場でも訴えていきましょう。」

「出向先会社の労働条件改善の取り組みとして、東海労が団交を行って改善してきました。」「私たちは、反戦、反原発、反リニア、そして会社の異常な労務管理を許さず、大井基地で働く労働者・社員が働きやすい職場、明るく楽しい職場をつくるために奮闘しましょう。」と挨拶されました。

来賓として、JR総連、本部、地本、東一運分会、東二運分会、東京地区分会、三島車両所分会の皆さんから連帯・激励の挨拶を戴きました。

質疑では、各職場の問題点、ボーナスカット撤回本人訴訟裁判、たしろ参院選、関連会社の取り組み、平和の取り組みについて、多くの活発な意見が出されました。

これらの発言を受けて木村書記長から、「色々な意見が出された良い大会だったと思う。職場の問題は地本、車技分科会と連携を強化して解消に向けて取り組んでいく。」「成田本人訴訟裁判に最大結集しよう。」「東海労結成以後25年の闘いを振り返り、新たな歴史、未来を切り拓くために奮闘しよう。」との総括答弁を行いました。



の闘いを振り返り、新たな歴史、未来を切り拓くために奮闘しよう。」との総括答弁を行いました。

向こう一年の方針を満場一致で確認し、分会長の団結ガンバローで大会を終了しました。

《成田地本委員長・ボーナスカット撤回！本人訴訟・証人尋問》

**2016年9月23日10時より**

組合側証人：木藤 純宏さん

会社側証人：中村 滋 助役、増田 誠 助役

**2016年10月19日13時20分より**

原 告：成田 隆浩 地本委員長

会社側証人：渡辺 幸一 総括助役

**勝利に向けて最大結集しよう！！**